

けいはんな情報通信オープンラボシンポジウム2004

～オープンラボにおける産学官連携の成果～

主催：けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会

後援：(社)関西経済連合会 (財)関西文化学術研究都市推進機構 総務省近畿総合通信局

(予定) 独立行政法人情報通信研究機構

けいはんな情報通信オープンラボは、産・学・官連携によるIT研究開発の実施に向け、平成15年6月にNICTけいはんな情報通信融合研究センターにおいて開所いたしました。

「けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会」は、本オープンラボを有効に活用し、ネットワークの高機能化、人間中心のコミュニケーションなど、ITに関する実効的な産学官連携の構築、技術の育成、研究推進等を図るため、関西の産・学・官が一体となって設立した協議会であり、現在、30を超える実証実験が行われております。

この度、本オープンラボの研究成果につきまして、協議会会員を中心とするIT関連企業・団体の皆様にご報告するとともに、今後の成果の活用について広く意見交換を行うことを目的として、下記のとおりシンポジウムを開催いたします。



NICTけいはんな情報通信融合研究センター



ユビキタスホーム(オープンラボ内)

記

日時：平成16年10月28日(木)、29日(金)

場所：けいはんなプラザ(京都府相楽郡精華町光台1-7)

定員：200名(定員になり次第締切ります)

費用：無料(懇親会含む)

交通：別添申込書参照

申込み：別添申込書にご記入の上、メール又はFAXにてお申込みください。

(締切り 平成16年10月15日(金))

お問合せ先：けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会 代表連絡先

〒530-6691 大阪市北区中之島6-2-27 NCBビル30階

((社)関西経済連合会 経営グループ内) 山下・丁田

Tel:06-6441-0103 Fax:06-6443-5347

E-mail: h-choda@kankeiren.or.jp

プログラム

10月28日(木) 13:00～19:30

ポスターセッション(13:00-14:00)

開会挨拶(14:10-14:30)

基調講演(14:30-15:10)

「IBMの研究開発と産学官連携」

内永ゆか子 氏

(日本アイ・ビー・エム株式会社 取締役 専務執行役員)



パネルディスカッション(15:30-17:30)

「オープンラボの成果と今後の活用について」



chair: 大森慎吾(独立行政法人情報通信研究機構 執行役)

panelist: 北山研一(大阪大学 大学院工学研究科 教授)

木戸出正繼(奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 教授)

楠木久繼(NTTコミュニケーションズ(株) 第2法人営業本部e-ガバナメント営業部 部長)

土井美和子(株東芝 研究開発センター-ヒューマンセントリックラボラトリー 研究主幹)

萩田紀博(株国際電気通信基礎技術研究所 知能ロボティクス研究所 所長)

懇親会(18:00-19:30)

10月29日(金) 10:00～17:25

高機能ネットワーク分科会発表

成果発表 : フォトニック技術(10:05-11:05)

- (1) フォトニックWG総括報告 (2) フォトニックPJを中心とした活動報告 (3) 光バーストPJを中心とした活動報告
(4) テラビットPJ活動報告 (5) 高機能光分拡散多重通信システム

成果発表 : 光ネットワークの相互接続性(11:05-12:05)

- (1) 光ネットワーク技術の最新動向とけいはんなオープンラボでの活動について
～ けいはんな発の光ネットワーク技術の国際標準化～
(2) - 最新の光ネットワークプロトコル技術 (3) - 最新の光インタフェース技術

成果発表 : Grid・アプリケーション技術(13:00-14:00)

- (1) 仮想マシン技術によるセキュリティ機能
(2) 超高圧電子顕微鏡サイエンス映像の日米間HDTV伝送実験について

ヒューマンコミュニケーション分科会発表

成果発表 : コンテンツ融合環境(14:05-15:05)

- (1) コンテンツ融合プロジェクトの概要 (2) ユビキタス(ネットワーク)技術に基づくコンテンツの協調的収集と編集
(3) TV4U: 個人放送局と今後の放送コンテンツ

成果発表 : 言語情報活用システム(15:25-16:25)

- (1) 言語支援環境プロジェクトの概要 (2) キーワードの自動抽出・分類による情報獲得支援の研究開発
(3) 機械翻訳に用いる翻訳知識の自動獲得の研究開発

成果発表 : ユニバーサルユーザ利用環境(16:25-17:25)

- (1) ゆかりプロジェクト活動報告 (2) 分散型機能協調ネットワーク基盤
(3) 分散型機能協調サービスとインタフェースロボット